

# 守山市

# 発達支援センターだより

令和元年 12月号

令和元年 12月15日発行 守山市発達支援センター  
守山市下之郷三丁目2番5号 すこやかセンター内  
Tel : 077-582-1158 Fax : 077-581-1628



## 「発達障害を知ろう」講演会を開催しました

日時：令和元年12月7日（土）午後1時30分から午後4時まで

場所：守山市民ホール 小ホール

テーマ：発達凸凹のある人の生きる力を育てる

～ネット時代の子育てを通して～

講師：滋賀医科大学 小児科学講座 特任准教授 阪上 由子 氏

済生会守山市民病院 小児科 医長 上羽 智子 氏



滋賀医科大学の阪上先生に発達障害と子育てやネットに関連させたテーマで、子どもの健やかな発達のために、守るべきルールなど具体的な方法について教えていただきました。また、阪上先生のご講演後、上羽先生にもご登壇いただき、対談形式にて架空事例をもとに子どもとの関わり方や、対処法などについてお話していただきました。

225名の方が参加され、「ネット時代の子育てに関する書籍や講演は多々あるが、発達障害を絡めた話を聞ける場は他にはないので大変参考になった。」「スマホに頼らず、子どもと直接かかわる時間を大切にしたいと感じた。」などの感想をいただきました。他の講演会では聞くことができない内容でとても有意義な時間となり、このような機会の大切さを改めて感じました。発達特性のある方や、その家族をはじめ、誰もが住みやすいまちづくりを目指して、今後も講演会等の啓発活動に取り組んでいきます。

## お知らせ

### すこやかまちづくりフォーラム



～「子育て講演会」を開催します～

テーマ：こどもの「生きる力」を育むために

日時：令和2年2月15日（土）

午後1時30分から午後4時まで（開場 午後1時）

場所：守山市民ホール 大ホール

講師：白梅学園大学大学院 特任教授 無藤 隆 氏

滋賀医科大学 小児科学講座 特任准教授 阪上 由子 氏

対象：関心のある方はどなたでも

こどもの「生きる力」を育むために  
子育て講演会  
令和2年 2/15 13:30~16:00  
参加費 700円  
申込 不要  
場所 守山市民ホール 大ホール  
講師 無藤 隆 氏 阪上 由子 氏



※詳細はちらしやホームページをご覧ください。



子どもを理解するうえで、手がかりの一つとなる発達検査について、当センターで実施している検査の内容や目的、そして、検査の結果を活かしていくために大切なことを紹介します。

◆ 発達（知能）検査って？

検査者とお子さんが1対1で関わり、用具を使ったり、言葉でやりとりしたりする中で、周囲の大人が、子どもの現在の姿とその背景をより客観的に捉えることができます。

当センターでは  
 幼児期：新版K式発達検査  
 学童期：WISC-IV（知能検査）  
 を行っています

◆ 発達検査（知能検査）で分かること・分からないこと

★検査の指数で分かること

- ・新版K式発達検査：年齢に応じた力が獲得できているかというような発達水準
- ・WISC-IV：同年齢集団と比較しての知的水準、自身の得意・不得意と考えられる力の有無やその差

➔ 「指数が平均より高い・低い」「発達や知的水準に遅れがある・ない」

★検査の指数では分からないこと

➔ 一人ひとりのこれまでの育ちや経験の過程、日常での姿

子どもの姿を理解するためには欠かせない大切なこと



- ◎ 検査の結果は、子どもを理解するための手がかりの1つ。発達障害の診断はできません。
- ◎ 子どもの課題の要因や背景に迫るためには、日々の子どもの姿に、どのように周囲が関わり、その結果どのようなことが起こったかを考えることがとても大切です。

◆ 検査を受けるにあたって・・・

保護者、校園の先生方など様々な立場から、子どもの課題の背景（理由）を考え、意見を出し合い、関わりの中で工夫できる部分がないか検討してみてください。そして、その関わり（支援）の中で、子どもの課題や状態が改善したかどうか、たとえ小さな変化であっても、検査の際に検査者に伝えてもらえると、より具体的な助言に繋がります。



◆ 検査を受けた後・・・

子どもの普段の様子と検査結果を擦り合わせた結果、関わり（支援）のヒントがみえてきます。そのヒントを基に、例えば、個別支援計画を見直し、いつまでに何に取り組むかなど具体的な目標を立てます。そして、学期ごとで"達成"や"未達成"のことを丁寧に確認してみるなど、子どもや保護者、校園の先生で**子どもにとっての望ましい関わり（支援）を継続することがとても大切です**。「検査を受けて終わり」では検査の有効性は十分に発揮されず、緊張と不安の中、検査にのぞんだ子どもたちの頑張りや、消えてしまうかもしれません。「日々の支援があってこそ検査が意味を持つ」ということを理解していただくことが、子どもにとっての望ましい支援につながっていきます。

